



# れんけい

題字：松尾信彦書

## 緩和ケア病棟がオープンしました

緩和ケア内科 部長 原 一平

平素より、香川県下の医療・福祉機関の皆さまにおかれましては、大変お世話になっております。

この度、念願の緩和ケア病棟が令和元年10月1日から院内向けに、11月1日から院外向けにもご案内できる運びとなりましたので、お知らせいたします。

病床数は15床です。無料個室が8床、7,000円＋消費税の有料個室が6床、20,000円＋消費税の特別室が1床となります。

入院していただくまでの流れといたしましては、まず、完全予約制の緩和ケア病棟相談外来を受診していただき、当院の緩和ケア病棟の入院希望患者としての「登録」を行っていただきます。入院が必要になりましたら、「予約」に切り替えて入院判定会議を行い、入院の是非と入院日を決めさせていただきます。詳しい内容は、ホームページをご参照ください。

当院の緩和ケア病棟の入棟基準の一つに「患者さん本人が病名、病状を理解しており、緩和ケアについての意見や希望を伝達できること」とありますので、患者さんへの病状説明や緩和ケア病棟についての説明をよろしくお願い申し上げます。緩和ケア病棟についての詳しい内容についても、ホームページをご参照ください。

緩和ケア病棟相談外来受診後、入院までに病状悪化などがあった場合は、紹介元の医療機関を受診していただくように患者さん・ご家族などにはお伝えしますので対応をよろしくお願いいたします。

当院の緩和ケア病棟の役割としては、悪性腫瘍により終末期を迎えた患者さんの身体的、精神的な症状の緩和治療、心理的サポート、家族サポート及び在宅への円滑な移行の支援などを行うことと考えております。地域の医療・福祉機関と協力して、在宅での患者さんご家族などを支えています。在宅療養が困難となったら、再入院も可能です。双方向性の地域連携を行っていければと思っております。

当院の緩和ケア病棟の理念は、治療困難な悪性腫瘍の患者さんに対して可能な限りの苦痛の緩和を行うこと、その人らしい人生を送れるように、患者さん、ご家族などに最期まで寄り添って支援を行うこととあります。医療・福祉の多職種チームで患者さん・ご家族などを支えて参りますので、今後もご協力をよろしくお願い申し上げます。

### (主なスタッフ)

|                     |        |
|---------------------|--------|
| 緩和ケア内科 部長（科長）       | 仁熊 敬枝  |
| 部長（緩和ケア病棟担当医師）      | 原 一平   |
| 10階西病棟（緩和ケア病棟）師長    | 森田 ゆかり |
| 緩和ケアセンタージェネラルマネージャー | 西山 美穂子 |
| （緩和ケア病棟相談外来予約担当）    |        |
| がん看護専門看護師           | 萱原 沙織  |



## NEWS

### ほっと一息やすらぎタイム 院内コンサートを開催しました!

業務課 近藤 歩

9月17日（火）、関西を中心にライブ活動を行っておられるピアノ弾き語りシンガーソングライターの松中啓憲（あきのり）さんをお招きし、院内コンサートを開催しました。松中さんにはこれまででも当院にコンサートに来ていただいた事があり、今回が3度目のコンサートでした。

皆さんご存知の曲「時の流れに身をまかせ」から始まり、「川の流れるように」、「はなみずき」のほか、今年7月に発売された松中さんのニューシングル「あなたがくれたもの」も披露していただき、全5曲のピアノ弾き語りに皆さん聞き入っておられました。また、最後の曲「上を向いて歩こう」では、会場の皆さんにも手拍子をしながら一緒に歌っていただき、楽しいミニコンサートとなりました。

★次回の院内コンサートは、11月2日（土）10:30～坂出高校合唱部の皆さんに出演をお願いしています。



information

# TAVI 100 例を超えて

循環器内科 部長 野坂 和正

2015年7月に1症例目を施行したTAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）ですが、2018年12月に100症例を超え、2019年10月時点で141症例を数えました。また、当初はバルーン拡張型のTAVI弁であるSapienしか使用できませんでしたが、現在は自己拡張型TAVI弁であるEvolutも使用可能となり、いずれの弁も指導医の同席を必要とするプロクタリングを外れ当院ハートチームの判断で施行可能となっております。これにより幅広い症例に対応可能となり、重度の大動脈弁狭窄症に対する緊急TAVIも施行可能となりました。また、TAVIは高齢というリスクだけではなく、癌や骨折の手術を控えている大動脈弁狭窄症合併症例にも早く手術が可能となることから大変有用であると考えます。当院におけるTAVI術後の成績ですが、30日死亡は1.5%、1年後の生存率も90%以上と大変良好です。これも当院に御紹介下さる地域の先生方のおかげです。今後とも引き続きよろしくお願い致します。



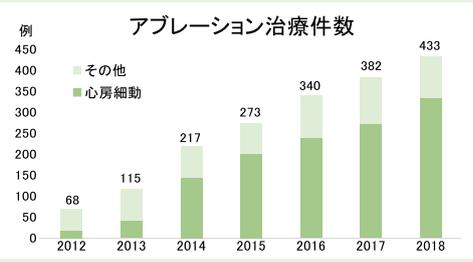
当院ハートチーム ハイブリッド手術室にて撮影

information

# カテーテルアブレーション2,000例達成

循環器内科 部長 大河 啓介

2012年4月から開始した不整脈疾患に対するカテーテルアブレーションは、2019年5月に累計2,000例を超えました。年間治療数は4年連続で四国一位を保持しており、全国でも有数です。ひとえに地域医療を支える先生方のご支援のおかげと深く感謝申し上げます。増加する不整脈患者を適切に治療していくため、医師・臨床工学士・看護師からなる医療チームは日々研鑽を重ねています。主な治療対象である心房細動は、脳卒中・循環器病対策基本法において重視すべき疾患として明記され、最新の診療ガイドラインにおいてもアブレーションの適応が拡大する等、早期診断・早期治療の重要性が益々強調されています。当院は最新機器を先駆的に導入しており、経験を重ねることで、指導的な役割を果たしています。最近では内視鏡下レーザーアブレーションシステムとリズムアマッピングシステムを導入しました。前者は肺静脈隔離の精度、後者は不整脈の原因となる微細な電位の検出力が最も高いとされています。これらにより心房細動や難治性不整脈の成績はさらに向上するものと期待されます。より良い医療を提供できるようチーム一丸で取り組んで参りますので、これからもご支援の程お願い申し上げます。



不整脈外来

| 月 | 火     | 水     | 木 | 金     |
|---|-------|-------|---|-------|
|   | 大河 啓介 | 大河 啓介 |   | 十河 将弘 |

## NEWS

# 脳腫瘍に対する覚醒手術を導入しました

脳神経外科 診療科長 市川 智継

脳腫瘍の摘出術は、通常は全身麻酔下で行いますが、隣接する脳の機能を損なわないように注意が必要です。そこで術中には、様々な電気生理検査を用いて神経機能を監視（モニタリング）します。究極のモニタリング方法は、患者さんが起きた状態で、ことばや手足の動きなどの神経機能を確認しながら手術することです。これを覚醒手術と呼びます。とくに言語機能は絶対に温存すべき重要な神経機能ですが、その機能を司るセンター（言語野）の場所を術中に正確に知るには、覚醒した状態にするほか方法がありません。

当院では、グリオーマ等の脳実質内腫瘍の手術を数多く行っていますが、腫瘍の再発を抑えつつ脳機能の温存を図るよう、言語野の近くに発生した脳腫瘍の摘出を行う際は、覚醒手術で言語野を探しだして（マッピング）、言語機能を確認（モニタリング）しながら腫瘍摘出を行っています。

覚醒手術は保険診療の範囲内ですが、脳神経外科医、麻酔科医、言語聴覚士、看護師のチームワークによる、高度な技術と安全管理が必要とされますので、ノウハウのある限られた施設でしか行うことができません。私は2002年以來前任施設での経験を含め約50例の覚醒手術の経験があります。当院では、安全かつ確実な手術結果が得られるように、2019年2月に覚醒手術チームを立ち上げました（香川県立中央病院倫理委員会承認番号811）。導入以來半年間で2例の覚醒手術を行い、言語機能を温存しつつ腫瘍を摘出することができました。このような、患者さんの予後改善に寄与できる手術支援モダリティを、これからも積極的に取り入れていきたいと思ひます。



## 覚醒手術チームメンバー

脳神経外科医師：市川 智継、蔵本 智士 麻酔科医師：平崎 盟人、井上 一由 リハビリテーション科医師：小野 恭裕  
リハビリテーション科言語聴覚士：武島 章、多田 優子 手術部看護師：小林 由香里、六車 仁志

## NEWS

# 高校生の医師体験講座を開きました

消化器・一般外科 院長補佐 大橋 龍一郎・総務企画課

8月1日（木）、高校生の医師体験講座を開催しました。

この医師体験講座は、医療の道を目指す高校生の気持ちを後押しすることを目的として、平成24年度から毎年開催しています。

参加した高校生12名は、手術室での鶏肉を使った手術体験や病棟・救急部・薬剤部などの部署見学を通して、医療現場の実際の雰囲気を肌で感じていました。また、医師との座談会においては、医師を目指したきっかけや毎日の仕事で心がけていることなど、なかなか聞くことのできない医師の本音を聞く機会となりました。

真剣な眼差しで説明を聞く高校生に、各現場のスタッフの説明にもさらに熱が入り、医療従事者としてのやりがいだけでなく、命を扱う現場の厳しさや過酷さについても伝えていました。

今回の医師体験講座を終えて、医師を目指す決意を新たにしている方や将来当院のスタッフとして働きたいと言ってくれる方もおり、大変うれしく思います。



**医師体験講座の内容：**体験学習（手術室での鶏肉を使った手術体験、病院食の試食、BLS体験、採血・気管内挿管・内視鏡のシミュレーション）、見学（病棟、中央検査部、病理部、放射線部、ヘリポート、救急部、薬剤部）、医師との座談会

# 当院の嚥下調整食の名称は「学会分類2013」に合わせています!

栄養部 技師長 橋本 真澄

病院食は、病態に応じて多岐にわたっており、食種の名称は各施設で異なっています。食事の形態も咀嚼能力や嚥下機能により、様々な種類に分かれます。

当院では、2017年9月から「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013」の基準に合わせた内容に見直し、「訓練食」を「嚥下訓練食品0」・「嚥下調整食1～4」に名称変更しました。他の病院や福祉施設、在宅に変わっても、患者さんの食べていた食事を「学会分類2013」にあわせた共通言語で伝えることによって、同じような形態の食事を継続して提供できます。

最近では、学会分類等の表示がある市販食品も増え、在宅療養の方でも利用しやすくなってきており、栄養指導等で患者さんに紹介することもあります。

今後も、食事の名称の統一をはじめとして、医療連携を進めていきたいと思います。

\* 食事情報提供書に写真と内容を添付 (食事の一例: 「学会分類2013」嚥下調整食2-2に相応)



- 固定献立  
胃腸系三分菜を基準に副食のみペースト状
- 主食  
全粥小 (選択可)
- その他
  - ・ 朝食の牛乳→ヨーグルト
  - ・ 夕食のミニジュース→ブイクレスゼリー+とろみ剤 2g
  - ・ 麺禁止

## コラム お通じにまつわるうんちく話 (その10)

消化器内科 部長 田中 盛富

運動をすると体が疲れますが、その疲れの原因は乳酸が溜まるからだとか昔から説明されてきました。乳酸=老廃物=疲労物質という考えです。さらに、医療の世界では、「乳酸アシドーシス」という生命にかかわる危険な病態があり、現在でも体内での乳酸の蓄積は悪いものという考えがあります。

一方で、乳酸を産生する乳酸菌は善玉菌と言われ、健康食品の代表のような扱いです。「乳酸菌入り〇〇」は病院の売店でも販売されており、健康のために購入する患者さんや職員も多いと思います。いったい乳酸は体に良いのか悪いのか、私以外にも混乱している方はおられるかもしれません。

調べてみると、最近の研究では、運動時に乳酸は、筋細胞の中でエネルギー源として使われる有用な物質であり、決して老廃物や疲労物質ではないのです。また、脳や心臓にとっても乳酸は重要なエネルギー源となります。腸の中では、乳酸などの物質は弱酸性であるため腸内環境を整えるのに役立ち、小腸では乳酸が免疫を向上させるという研究もあります。さらに乳酸菌やビフィズス菌によって産生された乳酸は、大腸の中でうんちが作られる過程で、他の腸内細菌により代謝され、酪酸、酢酸などの短鎖脂肪酸という有用な物質に変えられます。

このように、乳酸自体は悪い物質ではなく、私たちの体の中で良い働きをしているのです。次回もうんちと腸内細菌にまつわるお話の予定です。



### 医師の人事異動 ● 転入 (10月1日付) ①出身大学 ②卒業年 ③趣味 ④抱負



**中西 美恵** (産婦人科)

- ①岡山大学
- ②平成元年
- ③ゴルフ
- ④早く新しい環境に慣れ、お役に立ちたい、と思っています。



**三苫 智裕** (産婦人科)

- ①ハンガリー・セゲド大学
- ②平成26年
- ③サイクリング・旅行
- ④患者様一人一人を大切に診察してまいります。



**石田 智也** (初期研修医)

- ①香川大学
- ②平成30年
- ③野球観戦
- ④経験・知識不足で皆様に助けられたい、ご迷惑をおかけしますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

### 医療セミナー開催予定

日時: 12月19日(木) 19:00～  
 場所: 当院1階講堂  
 内容: 子どもの救急に関すること  
 講師: 小児科 部長 岡本 吉生

日時: 1月23日(木) 19:00～  
 場所: 当院1階講堂  
 内容: 血管内治療に関する事  
 講師: 脳神経外科 部長 勝間田 篤